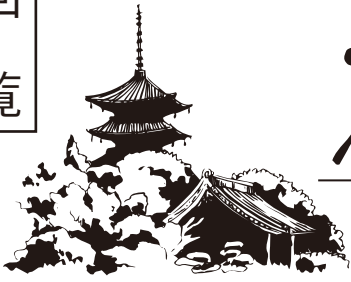


回覧



わがまち池上

池上管内世帯人口数
(外国人住人を含む)
(令和8年2月1日)

- ・世帯数 25,512
- ・人口(男) 22,595
- ・人口(女) 23,392
- ・人口(計) 45,987

発行：地域力推進池上地区委員会
編集：地域情報紙
「わがまち池上」編集委員会
事務局：大田区池上特別出張所
〒146-0082 大田区池上1-29-6
電話 (3752) 3441(代)



発行日3・6・9月の25日、12月15日



老舗の花屋「花彌多」さん (Florist HaNaYaTa) が昨年8月31日に閉店されました。明治17年に浄国橋の袂で曾祖父吉田彌太郎氏が屋号をご自分の名から「花彌多」とし開業しましたが、呑川の拡幅工事に伴い大正末期に現在の表門前に移転してきたそうです。

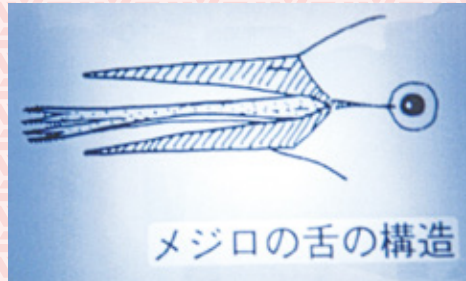
一世紀余りにわたり、春秋のお彼岸や7月の盂蘭盆会等、門前町ならではの諸行事には四季折々の花を提供し、参詣者の賑わいととも花彌多さんが参道に彩りを添えてくれました。そんな思い出を込めて店舗を眺めると、日蓮聖人像の綿帽子(おわた)を連想させる緑色の屋根や外壁の鳥の嘴は設計者の創作で、依頼したものではないとご主人がお話ししてくれました。



池上の昔を語る(41)

老舗の花屋「花彌多」

(池上4丁目在住)



メジロの舌の構造

ここからは編者の憶測を交えた話となりますが、花の蜜をついばむのは蝶や蜂だけではなく、梅や桜の蜜を求めてヒヨドリやスズメなど、鳥もやってきます。梅の開花時期に枝から枝へと飛び渡るのをよく見かけるメジロがその代表です。

メジロの細い舌は、先が筆状になっていて花びらを散らすことなく蜜を吸いとることで、そのメジロの習性から、設計者は意図的に外壁に鳥の嘴を裝飾したのではないのでしょうか？

当140号が発行される頃には、お山の桜も開花し春を実感できる季節となります。お花見の折には是非花彌多さんご夫妻の春風駘蕩なお人柄を偲び、外壁を見上げてみてください。

巴水と松亭が見た池上



「池上市之倉(夕陽)」川瀬巴水

池上との深い縁を持つ巴水と松亭。川瀬巴水は昭和32年、74歳で亡くなるまで版画家として活躍しました。

最近ではアメリカなど海外での評価が高まっています。現在の港区新橋の生まれですが、昭和2年から現・中央四丁目、同5年には現・南馬込三丁目に居を構え、戦後は現在の池上台に移り住みました。風情のある版画を描き、親しかった日本画家の伊東深水から「旅情詩人」と呼ばれるほど、画帳を持って全国を旅しては多くの風景版画を残しました。

池上の風景も沢山描きました。昭和3年の「池上市之倉(夕陽)」は太田神社の裏の丘から本門寺の樹々に沈む夕日を描いたものと思われまます。

江戸時代からの変わらない信仰と姿の古刹・本門寺参道の雪景色「池上本門寺」昭和6年作



「市ノ倉弘明画房」高橋松亭

画業の最も充実した時期を大田区内で過ごした松亭と同じく区内に居住し風景版画の分野で、浮世絵の伝統を継ぐ新版画制作をリードした巴水は、作品展示が、昨年十月から十一月まで郷土博物館で開催され好評でした。



「都南八景之内 池上」高橋松亭



「池上本門寺」川瀬巴水

(作品画像は大田区立郷土博物館の提供です)

町会のうつり変り

市野倉北町会 宮嶋 勝

私達の市野倉は、江戸時代は幕府の直轄地で、丘陵は松杉、檜、杉、松、低地は田畑が続き、鶴鴨雁等が生息し、將軍が鷹匠を従え、遊獵した土地でした。その名残りが地域の地名等で呼称されています。明治大正時代も比較的穏やかな田園地帯でした。大正12年の関東大震災では被害も少なく、都心から避難して来た人達がいたことで、その頃より徐々に人家も増え、発展して来ました。明治の中頃は「戸数五十八戸 人口も増へて来た」と記録されています。交通に関しては、明治5年新橋横浜間に鉄道が開通して



明治9年には大森駅が開設、大正6年池上線、大正11年に目蒲線が開通しました。池上旧道は今の平間街道で、江戸時代以前より本門寺のお会式には信徒が多数太鼓を打ち鳴らして万灯が練歩く道でした。昭和の初め迄は大森池上間に乗合馬車が行っていました。現在の池上通りは当時、改正道路と呼ばれて今もそのように呼ぶ人があります。町会内には信号機が一基もありません。なくとも今迄重大な事故を経験した事は一度もありません。丘陵の上には氏神様の太田神社が有り、『武蔵風土記』によれば三百年以上だそです。太田神社八幡様は市野倉の氏子の信望篤く、盛大に執り行われる例大祭は、近隣の人々で賑わいます。町内の良い神事行事文化を幾世代に渡って継承して行う事が大切です。



梅田小 作品

池上本門寺

三年 船木 梨帆

わたしにとって池上本門寺は大切なそんざいです。どうしてかという、みんな楽しんでたり学習をできたりする場所だからです。

わたしは、池上本門寺のお会式や春祭りなどのイベントが大好きです。わたしはとくに去年の十月のお会式が思い出に

このこつていきます。まず、家からお会式に行くとき、きれいな月を見るのができました。月を見ながら歩いているときに、「どんなやたいがあるんだろ」と思ってたわくわくした気持ちになりました。本門寺につくと思ったよりやたいがいくつかあって何を買おうかまよいました。友だちが買っているのを見て、あれもおもしろ、楽しそうだなと思いました。まよったけれどわたしは、かわいいはじめてみるシマエナガのあめをかいました。家に帰るとすごくかわいかったので食べずにかざりました。

このように池上本門寺はすてきな思い出をつくってくれました。本門寺がこれからもなくなるならないようにしたいです。そのためにはイベントにさんかし

池上警察からのお願い

- ① 高齢歩行者の事故の多くは、横断禁止場所での横断違反
- ② 高齢歩行者の事故は自宅から近いところでも多く発生しています。慣れた道でも安心することなく、安全確認をお願いします。
- ③ 夜間外出時には明るい色の服装を心がけましょう。反射材用品を身につけることも効果的です。
- ④ 自転車の死亡事故の多くが頭部に損傷を受けています。自転車に乗る時はヘルメットをかぶりましょう。



都営地下鉄の馬込の停車場、正式には「東京都交通局馬込車輛基地」の上に架かるのがこの道々女木橋です。ドドメキバスと

道々女木橋



⑤ 運転に不安を感じたら、運転免許証の自主返納をお考えください。

この橋に立つと、ちょっと前まで富士山も望めました。今でも見えるかもしれません。都営地下鉄浅草線に相互乗り入れする京浜急行・京成電鉄・北総鉄道などの車両も見ることができるとあって、鉄道マニアにはよく知られたスポットです。夕日に映える風景もそうですが、道々女木橋は心ときめく跨線橋です。数年前に改修されましたが、踏み鳴らすように歩くと、橋が揺れるようにとどめぎました。

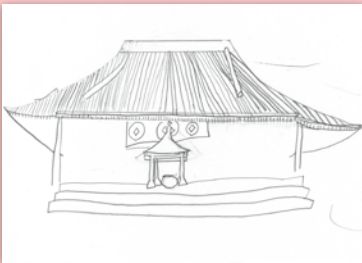
この「道々女木(ドドメキ)」は、実は地名です。『新編武蔵風土記稿』によれば、道々橋村の「飛地三ヶ所」の一つの「池上村」本門寺ノ後「アリの」の小名でした。ちなみに道々橋村は現在の池上二丁目・久が原一丁目・南雪谷五丁目・東雪谷五丁目・北嶺町の地域です。かつて池上に住んでいた力道山の邸宅も昔の地名だと、この道々女木でした。



3年 加藤 好



3年 松井 歌音



3年 沢田 百々愛



3年 相樂 彩乃

青少対だより

日頃より青少年対策池上地区委員会の活動にご理解を賜り感謝申し上げます。

昨年は全てのイベントを池上会館で行いましたが、集会所の改修工事で来年の3月まで利用ができません。

毎年恒例となっております大田区子どもガーデンパーティー池上会場は、コロナ禍以前に行われていました本門寺公園を使用して4月26日(日曜日)開催となります。

子どもさん始めみなさまの笑顔がみられるすばらしいイベントになりますように願っております。



編集後記

小学生時代には戦争・空襲・強制立ち退き疎開・敗戦・米軍駐留と、不安で目まぐるしい時代を過ごしました。その後は押しなべて平穏な生活を過ごし、このまま一生が終わるのかなと思いきや、人並みに癌とその転移に悩まされ、世の中も段々キナ臭くなりそうな気が感じられるようになってきました。少しでも平穏無事な生活が出来るような世の中になっほしいものです。(九)



俳壇

中央八丁目町会

吉田 小桂

春 草笛に わが青春を 重ねけり

夏 渋滞を 抜けて故郷へ 盆休み 美しや 若鮎皿に 反りかえる

秋 医者の手を 離れて朝や 天高し

冬 愛用の コートや憎き 虫のあな

